

研究計画書中間報告会（1年 SS 研究基礎）

2022年9月28日（水）にSS研究基礎の授業で、後期から本格化する探究活動に向けて、各グループの研究計画書の中間報告会が行われました。

今回の研究計画書の作成は夏休み前からスタートしており、各グループで大沼を題材にして、リサーチクエスチョン・仮説・研究背景・研究方法等について先行研究に基づいて考えてきました。今回の中間報告会は、その研究計画書をクラスメイトに見てもらうことで、新たな視点を獲得したり、他グループがどのような研究をしているのかについて知ったりすることを目的としました。



発表は、グループから概要を説明し、質疑応答、その上で評価ルーブリックや研究計画書作成のためのフローチャートに基づいて研究計画書について相互評価を行うという流れを取りました。

終了後の振り返りでは、生徒から「自分たちが気づかなかった視点からの質問があり、自分たちの研究をより良くできると思った。質問を参考にしている研究計画書を作ろうと思った。」「それぞれ大沼という特定の場所でいろいろな研究があって面白い」といったものがあり、それぞれに学び多き中間報告会となりました。



これから後期にかけて、指導教員のもとで研究計画書の修正を行い、実際の探究活動に入っていきます。また、年度末にはポスター発表会を予定しています。これからどのような探究活動が行われるのか楽しみにしています。

【研究テーマ例】

- ・大沼の河川の pH と付近の土壌の pH の関係
- ・大沼における冬季のヒシからのリンの放出による水質の変化
- ・炭素繊維を使った大沼の水質改善について
- ・渡島大沼の魚の消化管から検出されるマイクロプラスチック
- ・大沼の泥を用いた微生物燃料電池による発電